

令和元年度 学校評価 報告書

| 学校教育目標 | | 今年度の重点目標 | | |
|--|--|---|---|--|
| 未来を夢みて 笑顔で主体的に取り組む 児童の育成 | | <学校経営方針> ①「わかること・できること」の楽しさと喜びや「学ぶ意義」を実感できる授業を通して、確かな学力の定着を図る。(教科等横断的な視点を意識した指導の充実) ②自己有用感・規範意識・思いやり・根気等の心を育む教育を推進する。 ③心身共に健康的な生活習慣を確立するとともに、体力の向上を図る。 ④職員全員で学校づくりの目標を共有し、組織としての対応力と実践力を高める。 ⑤職員の資質能力・指導力を高める研修等の充実と職場環境の整備に努める。 ⑥家庭・地域・関係機関等との連携・協働を図り、「信頼される学校」「安全・安心な学校」「地域と共にある学校」づくりを推進する。 | | |
| <重点目標> ~いつでも元気で しっかり学び だれにでも優しい 石田っ子~ ◎自主:思いやりと感謝の心をもって、進んで行動しよう! ◎自学:よく聴き、よく考え、しっかり表現しよう! ◎自律:心身共に健康でよりよい生活をめざし、最後まで挑戦し | | | | |
| 評価項目 | 自己評価指標 | 自己評価集計グラフ | 成果と課題・改善策 | 学校関係者評価 |
| 教育目標・教育課程 | 全教職員で、本年度の重点目標を共通理解し、教育目標の具現化のために取り組んでいる。 | | 【成果】 ・学校、学級便りやホームページ等を通じた情報提供により、多くの保護者が学校の教育方針や様子等が伝えられていることを実感している(96.6%)。 ・保護者ふりかえりの「お子さんは、学校に楽しく通っている」では94.4%、児童ふりかえりの「学校は楽しい」で90.8%とプラスの評価が高い。 【課題】 ・多くの保護者・児童が「学校は楽しい」に対し、高評価をした一方で、学習面や友達関係等の支援を必要としている児童がいる。 【改善策】 ・心を寄せる児童に対する共有をし、組織として全職員で取り組むための体制づくりと意識の向上を図りたい(主任職員等による当該職員への積極的な声かけ、会議等における共有の時間の確保、教育相談体制の積極的な活用、研修等の実施)。 | ・「学校が楽しい」について。学校という仕組みそのものに適応しづらい子どもは増えていくし、それは必ずしも困ったことではない。しかし、適応しづらい子どもが教育を受けられる場がないのは、また別の問題としてある。 ・児童と保護者のふりかえりの「学校は楽しい」に関して。1～5年の児童のマイナス評価が保護者のマイナス評価の人数より多い。保護者は子どもが楽しく学校へ行っていると思っているのに、子どもは楽しく思っていないという場合があるということ。子どもの場合、そのときの気持ちで評価するだろうから、子どものほうが多くても当たり前なのかもしれないが気がなった。 ・児童ふりかえりの「学校は楽しい」「勉強がわかる」について。今年度の1年生の様子は、今までの1年生の様子と異なるように見えた。大人の言うことを聞けない、協調性に欠けるといったことが例年より多いと感じている。その裏づけとして低学年でのマイナス評価が多いように見受けられる。ただ、対応が難しい児童が増えているとの認識は必要で、それなりの対応を今後は考えなくてはならないと思う。 ・教育目標、方針を分かりやすく児童、保護者に伝えていて成果があがっている。 |
| | 学校は、教育目標・方針をわかりやすく児童生徒・保護者に伝えている。 | | | |
| | 子どもは、安心して楽しい学校生活を送っている。 | | | |
| 学習指導 | 授業方法の改善に努め、わかりやすい授業を行っている。 | | 【成果】 ・校内研究を通じ教職員も授業方法の改善に努めた。児童は授業がわかりやすいと92.2%が回答し、保護者も分かりやすい授業を行っていると高評価している。 【課題】 ①職員の「学習の評価方法についての説明」「家庭と連携した家庭学習の定着」については、「あまりあてはまらない」という回答が他の項目に比べて多い傾向にある。全国学力学習状況調査結果においても「家庭学習の時間が少ない児童」が全国平均と比べて多い。また、保護者ふりかえりでも「家庭での勉強等の約束を決めている」に対し「あまりあてはまらない」と回答した割合が10%を越える学年が3学年あった。 ②職員の「他人を思いやることの大切さ」等道徳教育に関わる取組に対する回答に「あてはまる」の割合が半減し、「わからない」が増加している。 【改善策】 ①学習評価に関する基本的な考え方を再確認し、学習の目標とそれに準拠した評価について教師がしっかりと意識し、授業でも児童に明確に示す必要がある。また、それを基に懇談会等で保護者にも説明を行う。 ①学校からの便りや懇談会等を通して、家庭学習への理解や協力等について伝え、家庭と連携した取組を図っていく。 ②校内研究では、国語科をテーマとしていたが、国語科以外の教科においても、全教員で研鑽に努める。(学習指導要領にあるねらいを達成するための授業改善、探求的な学びとなる総合的な学習の展開、特別な教科となった道徳教育の充実等) | ・職員の「総合的な学習」のA評価が昨年度より減っているのはなぜか。昨今の総合的な学習の時間の位置づけや実態、今後の方向性等を知りたい。 ・授業方法の改善に努め、分かりやすい授業を行っているかについて、前年に比べて「あてはまる」の割合が落ちている。授業準備の時間の確保をしてもらいたい。 ・基礎的な学習は良くわかるまで、時間外でのほしゅうが必要と思われる。 |
| | 学習の評価方法について、子ども・保護者に説明を行っている。 | | | |
| | 家庭学習の定着に向け、家庭と連携して取り組んでいる。 | | | |
| | 学級・学校生活の充実のために、学級活動の充実を図っている。 | | | |
| | 子どもは、運動会(体育祭)・遠足などの諸行事を楽しみにし、積極的に参加している。 | | | |
| | 総合的な学習の時間では、年間計画に則り、子ども自ら課題を見つけ、考え、問題の解決や探求活動に主体的に取り組むようにしている。 | | | |
| | 自立した人間として、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育に取り組んでいるか。 | | | |

令和元年度 学校評価 報告書

石田小学校

| 学校教育目標 | | 今年度の重点目標 | | |
|---|---|--|--|--|
| <p>未来を夢みて 笑顔で主体的に取り組む 児童の育成</p> | | <p><学校経営方針> ①「わかること・できること」の楽しさと喜びや「学ぶ意義」を実感できる授業を通して、確かな学力の定着を図る。(教科等横断的な視点を意識した指導の充実) ②自己有用感・規範意識・思いやり・根気等の心を育む教育を推進する。 ③心身共に健康的な生活習慣を確立するとともに、体力の向上を図る。 ④職員全員で学校づくりの目標を共有し、組織としての対応力と実践力を高める。 ⑤職員の資質能力・指導力を高める研修等の充実と職場環境の整備に努める。 ⑥家庭・地域・関係機関等との連携・協働を図り、「信頼される学校」「安全・安心な学校」「地域と共にある学校」づくりを推進する。</p> <p><重点目標> ～いつでも元気で しっかり学び だれにでも優しい 石田っ子～ ◎自主:思いやりと感謝の心をもって、進んで行動しよう! ◎自学:よく聴き、よく考え、しっかり表現しよう! ◎自律:心身共に健康でよりよい生活をめざし、最後まで挑戦し</p> | | |
| 評価項目 | 自己評価指標 | 自己評価集計グラフ | 成果と課題・改善策 | 学校関係者評価 |
| 児童生徒指導 | 問題行動が発生した時の対処の仕方が教職員間で共通理解されている。 | | <p>【成果】 ・問題が発生したときに学年全体で動いている様子が見られた。 ・児童指導担当に問題行動等の情報が集まっている。職員会議後に児童指導についての情報の共有が、児童の理解につながっている。 ・保護者ふりかえりより「学校は一人の子を多くの職員でかわり、きめ細かな指導に努めている」でプラス回答が89.4%、「児童や保護者の悩み等を相談できる体制づくりに努めている」でのプラス回答が92.1%と、高評価である。</p> <p>【課題】 ①「友達やお世話になっている人にあいさつをしている」が93.6%と児童の意識は高いが、朝の場面を中心になかなか声が出にくい。 ②児童ふりかえりの「困ったとき先生に相談することができる」のプラス回答が78%であるが、「あまりそう思わない」が20～30%の学年がある。また、職員自己評価の「子どもの悩みや相談などに適切に対応している」に対し「あてはまる」の回答が昨年度より減少している。 ③保護者ふりかえりの「いじめのないよりよい人間関係作り」に努めている」に対し、「わからない」という回答が10%を越えている学年が4学年ある。</p> <p>【改善策】 ①児童会等で話し合う機会を設け、児童自身の意識をより高める。 ①家庭や地域と連携し、あいさつの話題を共有した取組を図っていきたい。 ②いじめ不登校の早期発見のため、アンケートを効果的に実施する。また、自分の気持ちや考えを伝えることができるコミュニケーション力を伸ばし、児童間・児童と教師間のよりよい人間関係が築けるようにする。 ②全職員参加の児童指導全体会等でさまざまな事例を持ち寄り、共通の財産にし、早期発見・早期対応ができるようにしていく。 ③折にふれ、相手を思いやる取組について、家庭へ情報提供をしていく。</p> | <p>・児童ふりかえりの「毎日朝ごはんをあまり食べていない」子どもが4%ほどいること、また、「先生などに相談できない」子どもが20%ほどいることに対しては、個々の事情があると思われるため、個別に対処することを希望します。 ・「困ったときに先生などに相談できるか」に対し、低学年がまだ相談できていないようです。対策をお願いします。 ・いじめの早期発見など、社会問題化しないよう努力していることは非常に良い。</p> |
| | 保護者と連携し、基本的な生活習慣の定着に向けて取組んでいる。 | | | |
| | いじめの早期発見などに対する取り組みなど、子どもの悩みや相談などに適切に対応している。 | | | |
| 特別支援教育 | 支援を必要とする児童の把握に努め、校内委員会で検討し、支援を行っている。 | | <p>【成果】教育相談コーディネーター担当の職員が、市のスクールカウンセラー(以下SC)との連携をとり、心を寄せたい児童へ対応が図られるよう、学校内の良好な支援体制づくりに努めていた。個別支援の体制も学習支援ボランティアの協力により、継続して実施することができた。</p> <p>【課題】 ①職員全体での共有と児童への関わりが必要である。 ②支援を必要とする家庭への情報提供が必要である。</p> <p>【改善策】 ①「児童指導」の項目②の改善策に同じ。 ②保護者の思いの理解に努め、SCとも連携しながら必要とする支援についでいく。</p> | <p>・少数の子どものために、教職員が一体となって支援している校風は素晴らしい。</p> |
| 安全・保健管理 | 学校保健計画に基づき、全教職員で疾病予防に努めている。 | | <p>【成果】 ・養護教諭、栄養教諭と学級担任が連携し、保健指導や食育指導の授業を定期的実施した。このことにより、児童の健康保持や食に関する意識が高まっているように感じられる。 ・保護者の「児童の健康と命を大切に教育に努めている」という項目も、プラス回答が95.7%と高評価である。 ・PTAや地域ボランティア等の協力により、平常時だけでなく悪天候時などにおいても、登下校や地域での安全が図られた。「登下校や地域での児童の安全確保に努めた」について保護者のプラス回答は97.1%である。</p> <p>【課題】 ・継続的な児童の安全に向けた環境整備、危機管理能力の育成が必要。</p> <p>【改善策】 ・日ごろからの職員による安全点検と、児童への安全指導を全教職員が高い意識をもって取り組む。</p> | <p>・児童ふりかえりの「休み時間は外で遊んでいる」に対して、外で遊ぶのが苦手という子どもが増えるのは必ずしも悪いことではない。数字の改善のための対策が子どもの個性をつぶすようなことにならないよう希望する。</p> |
| | 子どもたちが安心して学校生活を送れるように安全(通学路も)点検を行っている。 | | | |
| | 学校災害(地震・火災)時の対応や身の回りの安全について日頃から指導を行っている。 | | | |

令和元年度 学校評価 報告書

石田小学校

| 学校教育目標 | | 今年度の重点目標 | | |
|--|--|---|--|--|
| 未来を夢みて 笑顔で主体的に取り組む 児童の育成 | | <学校経営方針> ①「わかること・できること」の楽しさと喜びや「学ぶ意義」を実感できる授業を通して、確かな学力の定着を図る。(教科等横断的な視点を意識した指導の充実) ②自己有用感・規範意識・思いやり・根気等の心を育む教育を推進する。 ③心身共に健康的な生活習慣を確立するとともに、体力の向上を図る。 ④職員全員で学校づくりの目標を共有し、組織としての対応力と実践力を高める。 ⑤職員の資質能力・指導力を高める研修等の充実と職場環境の整備に努める。 ⑥家庭・地域・関係機関等との連携・協働を図り、「信頼される学校」「安全・安心な学校」「地域と共にある学校」づくりを推進する。 | | |
| <重点目標> ~いつでも元気で しっかり学び だれにでも優しい 石田っ子~ ◎自主:思いやりと感謝の心をもって、進んで行動しよう! ◎自学:よく聴き、よく考え、しっかり表現しよう! ◎自律:心身共に健康でよりよい生活をめざし、最後まで挑戦し | | | | |
| 評価項目 | 自己評価指標 | 自己評価集計グラフ | 成果と課題・改善策 | 学校関係者評価 |
| 研修 | 研究テーマに沿った校内研修が、計画的に行われ、日常の教育実践に生かされている。 | | 【成果】研究報告会へ向け、国語科の授業展開や教材研究の一助となる校内共有の資料を作成することで、指導方法を全職員で共有し、取り組むことができた。 【課題】研修時間の確保が必要である。 【改善策】校内研究を通して、互いの授業を参観し、より良い授業のあり方を考えていく。 | |
| | 「学校へ行こう週間」等を設け、開かれた学校づくりに努めている。 | | 【成果】 ・授業参観には、多くの方々に参加していただいている。土曜参観では、「みんなで学ぼう公開講座」とし、参加型のものを取り入れるなどの工夫をしている。 ・登下校の見守りや花壇、読み聞かせや図書整備、ボパイ倶楽部や子どもクラブなど、多くの保護者、地域の方に携わっていただき、児童は豊かな教育環境の中で過ごすことができた。保護者の振り返りでも、体験学習の充実や地域の方との交流を高評価している。 【課題】 ・さまざまな場面でボランティアの方々の力をいただいているが、新しく参加していただける方が少ない。 【改善策】 ・学期末大掃除など単発的な活動が足がりとなるよう声かけを行い、ボランティア活動への協力を働きかける。 | |
| 情報提供 | 児童生徒の個人情報の保護には、十分に気を配り、情報保護指針に沿って対応している。 | | 【成果】 ・授業参観には、多くの方々に参加していただいている。土曜参観では、「みんなで学ぼう公開講座」とし、参加型のものを取り入れるなどの工夫をしている。 ・登下校の見守りや花壇、読み聞かせや図書整備、ボパイ倶楽部や子どもクラブなど、多くの保護者、地域の方に携わっていただき、児童は豊かな教育環境の中で過ごすことができた。保護者の振り返りでも、体験学習の充実や地域の方との交流を高評価している。 【課題】 ・さまざまな場面でボランティアの方々の力をいただいているが、新しく参加していただける方が少ない。 【改善策】 ・学期末大掃除など単発的な活動が足がりとなるよう声かけを行い、ボランティア活動への協力を働きかける。 | |
| | 授業参観・懇談会等へ多くの参加があるように工夫し、行っている。 | | 【成果】 ・授業参観には、多くの方々に参加していただいている。土曜参観では、「みんなで学ぼう公開講座」とし、参加型のものを取り入れるなどの工夫をしている。 ・登下校の見守りや花壇、読み聞かせや図書整備、ボパイ倶楽部や子どもクラブなど、多くの保護者、地域の方に携わっていただき、児童は豊かな教育環境の中で過ごすことができた。保護者の振り返りでも、体験学習の充実や地域の方との交流を高評価している。 【課題】 ・さまざまな場面でボランティアの方々の力をいただいているが、新しく参加していただける方が少ない。 【改善策】 ・学期末大掃除など単発的な活動が足がりとなるよう声かけを行い、ボランティア活動への協力を働きかける。 | ・国や県が推進しているコミュニティスクールは、県や市、石田小学校ではどうなっているのか知りたい。 |
| | 保護者・地域の方には、ボランティアとして積極的に協力してもらっている。 | | 【成果】 ・授業参観には、多くの方々に参加していただいている。土曜参観では、「みんなで学ぼう公開講座」とし、参加型のものを取り入れるなどの工夫をしている。 ・登下校の見守りや花壇、読み聞かせや図書整備、ボパイ倶楽部や子どもクラブなど、多くの保護者、地域の方に携わっていただき、児童は豊かな教育環境の中で過ごすことができた。保護者の振り返りでも、体験学習の充実や地域の方との交流を高評価している。 【課題】 ・さまざまな場面でボランティアの方々の力をいただいているが、新しく参加していただける方が少ない。 【改善策】 ・学期末大掃除など単発的な活動が足がりとなるよう声かけを行い、ボランティア活動への協力を働きかける。 | |
| 家庭との連絡を大切に、学校だより等により、学校の様子をよく知らせている。 | | 【成果】 ・職員会議の内容の整理精選とPCの活用を進めペーパーレス化を実施し効率化を進めた。 ・学年を中心に教職員同士が対話を重ね、円滑に学校が運営されている。 【課題】 ・職員の若返り化が進み、また、いわゆる中堅層が少ないため、職員間の伝承もより意識的にする必要がある。 【改善策】 ・学年や世代を超えて、活発に意見を出し合ったり、総括教諭を中心にすえ悩みを相談したりできる場を設けていく。 | | |
| 組織・運営 | 職員会議・学年会などの会議が、情報交換・共通理解の場として有効に機能している。 | | 【成果】 ・職員会議の内容の整理精選とPCの活用を進めペーパーレス化を実施し効率化を進めた。 ・学年を中心に教職員同士が対話を重ね、円滑に学校が運営されている。 【課題】 ・職員の若返り化が進み、また、いわゆる中堅層が少ないため、職員間の伝承もより意識的にする必要がある。 【改善策】 ・学年や世代を超えて、活発に意見を出し合ったり、総括教諭を中心にすえ悩みを相談したりできる場を設けていく。 | ・「あてはまらない」の回答がある点に気になる。職員が一人で悩まず、相談や愚痴が言いやすい環境であってほしい。 ・職員間での情報共有に力を入れていただき、一人の先生だけに責任がいくことのないようにしてほしい。 |
| | 教育活動における問題や悩みについて気軽に話し合えるような人間関係ができていく。 | | 【成果】恵まれた教育施設で学校が運営できている。 【課題】使用年数の経過により、電気系統・冷暖房施設・床等で不具合が出ている。 【改善策】安全点検に対する意識の向上と市教委との連携による点検整備の充実。 | |
| 教育環境整備 | 設置者と連携し、施設・設備の安全・維持管理のための点検・整備に取り組んでいる。 | | 【成果】恵まれた教育施設で学校が運営できている。 【課題】使用年数の経過により、電気系統・冷暖房施設・床等で不具合が出ている。 【改善策】安全点検に対する意識の向上と市教委との連携による点検整備の充実。 | ・エアコン工事完了後は、高評価が期待できる。 |

<A あてはまる・B ややあてはまる・C あまりあてはまらない・D あてはまらない・E わからない>